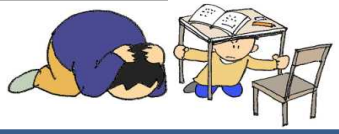
時間帯における児童生徒・教職員の基本対応フロー

②弾道ミサイル発射時の基本対応（登下校時）

状況および対応	管理職・教職員・児童生徒が取るべき行動	
	管理職・教職員	児童生徒
「日本の上空を通過」または「日本の領海外海域に落下」の場合		
≪Jアラート≫ 弾道ミサイル発射情報・避難の呼びかけ	ミサイル発射。ミサイル発射。●●からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中または地下に避難してください。	
◆避難行動	児童生徒の登校前、下校後に、校内端末・屋外スピーカー、スマートフォン等でJアラートによる情報を受信したら、校地内にいる生徒に対して速やかに校内放送で◆**避難行動**の指示を行う。 スクールバスの場合、ガソリンなどに引火する危険があることから車を止めて近くの建物の中等に避難する、周囲に避難できる場所がない場合は車から離れて地面に伏せ、頭部を守る行動をとります。 児童生徒の状況によって、車外に出ることが危険と判断される場合、車内で◆**避難行動**を指示します。	スマートフォンを持たない児童生徒の場合、**屋外スピーカーから情報を入手**します。ただ、場所によっては聞こえにくい場所もあるため、**周囲の大人のスマートフォンの音声やその後の行動などにも注意を払う**必要があります。公共交通機関においては、アナウンスや乗務員の指示に従います。 ◆ 避 難 行 動 【屋外にいる場合】 ○近くの建物の中や地下に避難して【屋内にいる場合】に従う。 ○建物や遮へい物がない場合は、物陰に身を隠すか、その場で地面に伏せてヘルメットやカバンなどで頭部を守る。 【屋内にいる場合】 ○窓のない部屋があれば移動する。 ○窓があれば、窓やカーテンを閉め、できるだけ窓から離れる換気扇を止め、床に伏せて頭部を守る。 ○机がある場合は、脚部を押さえ、爆風やガラスの破片から体を守る。
≪Jアラート≫ 直ちに避難の呼びかけ	直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが落下するものとみられます。直ちに避難してください。	
◆避難行動の継続	Jアラートによる情報を受信したら、速やかに校内放送で◆**避難行動の継続**の指示を行う。	◆ 避 難 行 動 の 継 続 
≪Jアラート≫ 落下場所等についての情報	ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが●●地方に落下したものとみられます。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。	
屋内避難の継続	落下場所等の情報を受信したら、速やかに校内放送で、追加情報の伝達まで**屋内避難の継続**の指示を行う。 テレビ、ラジオ、インターネット等で情報収集を行う。	屋内退避の継続 【屋外にいる場合】 ○口と鼻をハンカチで覆いながら、最寄りの建物へ避難する。 ○できればスマートフォンを持つ人やテレビの近くで待機し、追加情報を待つ。 【屋内にいる場合】 ○換気扇を止め、開いている窓があれば閉め、待機する。 ○できるだけ窓から離れる。
≪Jアラート≫ 追加情報	※「屋内避難の解除」「引き続き屋内避難の継続」等の情報が伝えられます。	
≪Jアラート≫ ミサイル通過情報または落下場所等の情報	Jアラートによる情報を受信したら、速やかに校内放送で**「屋内避難の解除」「引き続き屋内避難の継続」**の指示を行う。 その他、今後の対応等必要な指示を行う。	追加情報の指示に従う。 避難場所、時間帯等に応じて、「自宅」「学校」など、安全な場所へ移動する。 不審な物を発見したら、決して近寄らず、直ちに警察や消防等に連絡する。